（明治四十年十二月三十日第三種郵便物認可） （日刊）（日曜及祭日の翌日休刊） 明治四十二年五月一日（土曜日） 第九十七號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論（十五）

翠山

▲嶺秘書役長▼（三）

世才に長じ、知惑に富みたる氏は金儲けの道に掛けては巧妙なるべき筈なるに其の割合に以不巧妙にて從來幾度か企てて一も成効せず、到底千三つ屋の群に伍する資格なきなり、而も氏がヒヤブチヤブ屋の一人として京城に放浪せし時の狀態は常に跡かさず、扶からず利權問題に干與し其の結果往々世人より批難され、後ろ指を差さるゝの例少なからざりき、蓋し之れヒヤブチヤブ屋の本能にして目的の爲めには手段を擇ばず、利欲の爲めには道行を顧みざる自然の結果に依るべき而已、故に具て今日に至る迄も當時の氏を知れるものは、氣の毒にも氏に向つて一點同情の心を寄するものなく寧ろ氏を誹罵し、甚だしきに至りては氏が東拓秘書役長たる風采をして名を爲さしめたるものなりと侮辱の言を發するものすらあり。

而して氏が浪々の身より一躍して東拓秘書役長の地位に就きしは文相小松原英太郎氏の推薦にして桂侯も異議なく之を許し、宇佐川總裁又之を諾して其の任に當らしむることゝはなしたるも之が就任に就きては當時重役間に種々の批評起りたりき而も推薦者の關係上何人も默々として其の非を口にせず暫に時機の到るを俟つに過ぎざりしなり。

爾來今日に至る迄滿三ケ月其の手腕と力量とに於ては未だ是非の判別を下す能はざるも、氏の人格に就ての兎角の評は殆んど絶ふることなくして自ら顰蹙せしむるものあり、屡に聞く眞乎不眞乎かは知るに由なきも或る重役の言なりとして傳ふる所に依れば、彼れが人格に就て世人より批難多きは一般社內の人の認むる所なり唯ある關係上如何ともするに由なきのみ否な今日の場合如何ともするに由なきにはあらざれども、暫時時機の至るを俟つのみ、されど彼れは由來斯く人より唾棄され擯斥さるべき性質の人物には非ず、唯彼れは虚榮心烈しきが爲め其の結果種々の惡評を買ひ自ら人に嫌はれ、遠ざけらるゝに至るなり、彼も亦憐れなる人物なる哉と、思ふに此の言にして眞實なりとせば氏は疑ひもなく如今東拓社內の所謂憐れなる人物として一般より後ろ指を差され居るは當然の事なり、而して余輩は假りに如上の言を眞實なりとして更に繰り返さんと欲す氏は或る目的を遂せんとす爲めには之が手段を擇ばず、遂に行きを顧みざる行爲を敢て爲すやも測り知られざれど兎も角も衷心世評の如き人物には非ざることを

俳句

怨堂

●自選十句

古寺に 堅僧住むや 竹の秋
夕顔は尼寺の門に蒔かれけり

小波のだふり〳〵と蝌かな
灯の見ねて一村の田の蛙鳴く
詩を語る寒山拾得の日永かな
曲水や酒家に船遣る一位殿
泉岳寺松の花散る義士の墓
村の灯や田に水滿ちて夏近し
ボウフリや鉢の緋鯉に小雨降
桃の花珍客去りて家鴨鳴く

佐倉宗吾（六十八）

眞龍齋貞水講演

いま女乞食の御辭儀をするのを見て宗五は 宗「コレ、其方は印旛沼の辰右衛門の家内ぢやないか 女「ハイ、誰方樣でございます、辰右衛門の女房美代でございます 宗「オウ辰右衛門の女房か、どうも私が遠くから見たら何だか見覺があるやうだと思つたがヤレ〳〵慘い姿に成つたな、如何いたしたね 女「ハイ、佛庄屋の旦那樣、御聽き下さいまし、貴下方の御供をしまして、良人の辰右衛門が江戸へ出ましたが、急に一人で歸つて來て、村內の百姓衆は、皆な麻布の御屋敷で殺されて舞ひ仕六人の庄屋樣も、皆な首斬られたと云つて、何を取違ゐましたか良人辰右衛門が、國表へ注進いたしましたから其りや大變と百姓衆は皆な獲物〳〵を持ちまして、將門山へ集まりました所が、それは辰右衛門の誤りだと云ふことが分りまして、濟まないと云ふので辰右衛門は御城中へ駈込訴訟を致しまして御處刑となり、妾は子供を連れて所拂ひ、流れ〳〵て江戸表へ參りましたが、少し許りの物も無くして仕舞ひ今ぢや此下谷の山伏屋と云ふ木賃宿へ泊りまして、子供二人の手足を伸さうと存じ、斯うやつて居ります、旦那樣情けない事でございます此通りの乞食でございます、併し國表の御百姓も、皆な乞食も同樣、今日ほんの飯くつて通りますだけの事でございます、旦那樣、貴下樣を御力と國の百姓も皆な思つて居りましたが、皆な今ぢや落膽してゐる事でございます、ア、宜い處で御目に掛りまして、誠に御懐しく存じます」と云ふと泣出した 宗「アヽと思て出ました所が旦那樣の御姿を見受けましたから、先方から飛んで參りました、コレ〳〵誠に氣の毒だが、さう云ふ事で辰右衛門は生命を捨てたか、今に御上の情け久淵でございます旦那樣、大變御容子が御窶れでございますな 安「ハイ、實は私は、旦那樣が御出なさるまで苦心を致しまして宗「いや安兵衛、左衛門は生命を捨てたか、今に御上の情けを以て、一同の百姓が、安樂に月日を送る樣になる樣に取計ひ、また貴樣達親子も、無事に歸村して、以前の百姓に成れるやう致してやるから、せめて斯うしてゐる內は、身体を丈夫に、神佛を念じて、歸村を相待て 女「アヽ、有難う存じます、御蔭樣で腑う成りますれば妾等はどんなに有難く存じます 宗「……コレ悴や、佛庄屋の旦那樣に、御禮を申し上げな 子「旦那樣、有難う存じました 宗「オウ、御倅さんを大事にしな」 女「ハイ 宗「それぢやもう別れるぞ 女「有難う存じます」 佛庄屋さんは憐みに思ふ宗五郎に、圖らずも山門の處で逢ひました辰右衛門の女房美代親子共、聲を揚げて泣きながら、宗吾の後ろ姿を拜んでゐる、宗五郎は今、辰右衛門の女房に容子を見、國表へ遣して置いた妻子など、如何なつて居る事かと、頻りに胸を痛めて、淺草院樣の御門の處まで參りますと、御門番が 番「宗五郎どん 宗「ハイ 番「いま四十格好の百姓体の男が、お前さんを尋ねて來らつしたが、いま宗五郎どんは、一寸出なすつたと云つたらそれぢや後程出ますから、斯う云ふ者が來ましたと仰つしやつて下さいと云ひ置いて、中堂の方へ往ました 宗「ハア、然うでございますか ハテ誰か知ぬ」と思つてゐる所へ先方から一生懸命飛で來て○「旦那樣ッ 宗「オウ安兵衛かッ 安「ハイ御機嫌宜しうございます 宗「オウ〳〵常使の安兵衛か…如何いたした 安「ハイ、旦那樣、私は御目に掛りたいと存じて、唯今御尋ね申しましたら旦那樣はア御居がねから今中堂の方を拜見せう



京城新報

財務監督局長に告ぐ

暴徒問題に關して

財務監督局長諸君、今回諸君が中央に會同せられ地方財務の事項に就て會議せらるゝを機とし、聊か余輩の卑見を述て諸君の一考を煩はさんとす、

諸君は韓國財政の基盤たる地方の財務一切を監督す、税金の徵收、税源の涵養は勿論驛屯土、農工銀行支店、倉庫の監督等財務に關する一切の事は擧げて諸君の双肩にあり、

諸君は地方に於ける經濟財政の實行者にして亦顧問なる也、是を以て諸君の施設如何は韓國の財政に大影響を生ず、所謂倒すも起すも諸君の手腕如何にありと云ふも可也、諸君の任務や頗る重大也、余輩が諸君に向て卑見を提供するも決して徒爾ならざるを信ずる也、

諸君は地方の實狀に觸接するを以て能く事情を審にせらる、余輩の見る所を以てすれば今や地方の經濟狀態は頗る委靡沈衰して產業の不振亦其極に達す、其救治改善の急務なる素より論を俟たず、諸君は如何にして改善發展に資せんとするや、現時の狀態にては產業の發展も税金の徵收も到底諸君の意の如くならざる可し、斯くの如く產業は不振に陷り經濟狀態の沈滯を來たせるは何れに原因せりと思はるゝ乎、素より其原因は單純に非ず、種々錯綜して今日の結果を現出せりと雖も、一昨年來繼續せる暴徒の跋扈止まざるは重なる原因の一にあらざる乎、非耶、

惟ふに諸君は常に地方に在るを以て能く暴徒の異相を會得せらるゝならむ、從て暴徒鎮定策に就て充分に智識と材料とを有せらるべしと信ず、夫れ地方衰微の重なる原因が暴徒にありとせば之が鎮定の方法を策するは諸君の職務上より見るも大に努めざる可らざる事なりとす、現在諸君の地方に於ける職務上の成蹟が捗々しく擧らざるが如く見らるゝも畢竟暴徒の靜穩に歸せざる事が一の原因なりとすれば諸君は大に此點に向て努力せざる可らず、之れ大にしては經濟財政上に於ける利益也、小にしては諸君が職務上の成蹟を顯著ならしむる所以也、

今や幸に諸君は實況を目擊しつゝありし智識と材料とを抱て中央政府の下に會同せられんとす、此好機に於て諸君は其智識と材料とにより鎮定策を充分に討議し以て監督長に稟申し、中央政府の猛省を促し之を實行せしむ可し、之れ諸君の將さに盡すべきの任務ならずや、人或は云はん、暴徒の鎮定に關しては軍事當局者あり、内部警務局あり、敢て財務監督局長を煩はすに及ばんやと、素より其實行に就ては當局者に任すべきも、其方法を講ずるに就ては異相を知悉せる者の意見を質す必要あり、而も諸君は職務上の關係より暴徒に就ては深く研究せられ居るや必せり、實際に觸接して得たる適切の考案に依り中央政府に警告するは此際最も機宜を得たる所置なりと信ず、余輩は深く之を諸君に囑望す、諸君の職務に忠實なる必ずや之を容るゝに吝ならざるべしと信ず、

東京電報

▲水産技師出張

愛知縣水産試験所技師樋口邦彦氏は韓國へ出張を命ぜられたり（三十日發）

外報一束

●波斯内亂と露國

波斯皇帝はタブリッツ市に[illegible]の布告を施きたり是ソトニアの露國哥薩克兵二縱隊が同市に向つて進軍しつゝあるがためなり又波斯國境の露國警備兵は波斯のジュリナ市を占領せり露軍侵入の威嚇は波斯皇帝に對し最も有力なる影響を與へつゝあり

●日米の歡迎競爭

桑港クロニクル紙は平生排日主義を棄てて桑港市の歡迎準備を盛にしめつゝあり「米國は日本と競爭して勝を制し難き場合なきにしもあらず、されば新歡迎の國民的交驩に於ては日本と競爭して打勝たざるべからず」とは同紙の社說なり

●露國測圖隊

露國測圖隊三十餘名沈南府附近に入り測圖をなし居るを以て同地方官は目下抗議中なり

●日本錦繪の高價

紐育ハーバー氏所有の日本錦繪は倫敦に於て高價に賣却せられ百八十枚の代價四百五十二磅に上り

●無線電信の抗議

上海パレス、ホテルは無線電信を裝置し私用的に英國巡洋艦アストリヤ其他の船舶及び清國要塞等と通信を交換したるが清國官憲は之につき在北京英國公使に向け抗議を申込み尙同ホテルに對して之を公[illegible]せざる樣勸告せり

●粤漢借款と獨銀

有力なる北京通信員の來報によれば獨逸銀行は粤漢鐵道借款に關して單獨の行動を執り決して英國銀行と共同せんと計畫したることなしといへり

雜報

●成久王の御謝電

過日韓皇より北白川宮成久王殿下に對し大勳金尺大綬章並に御贈品花瓶三個を御贈進相成りたる事は既報の如くなるが同殿下より左の如き謝電ありたり

皇太子殿下本日特に御來臨最高最貴なる勳章を余に授けられ感喜の至に堪へず茲に謹で御禮申上ぐ

●韓太子と紀念章

韓太子は昨日韓皇に左の電報を發せらる

臣廿七日午後一時北白川宮邸に行き金尺大勳及花瓶二個を傳達し二時無事歸邸す

又日本天皇陛下より公爵岩倉具定を特派せられ日本皇太子殿下渡韓紀念章を贈らせられたり

●副統監慶州發

曾禰副統監は昨三十日午前九時慶州出發迎日灣を經て釜山に向はれたる旨其筋へ電報ありたり

●郡守會議提案

過般開會したる忠淸南道第四回郡守會議の提案は左の十二件なりと

（一）森林山野國有民有權區別の件（二）土地家屋文記其他證憑書類處置に關する件（三）面長例會の件（四）各面揭示板の件（五）郡經費中雜給增額の件（六）農業獎勵の件（七）不完全なる學校合併の件（八）勤儉貯蓄の件（九）橋梁用材の件（十）貯金必要の件（十一）新聞縱覽の件（十二）私塾教科書改良の件

●東拓總裁の隨員

既報宇佐川東拓總裁は五月東京に開かるべき第一回總會に出席する爲め五月十五、六兩日の中に出發東上する事に決定せるが隨員は井上、韓兩理事及嶺秘書役長に内定したりと

●吉原副總裁出發

吉原東拓副總裁は既報の如く韓理事、加賀山、米山の兩調查役等を從へ昨三十日當地出發下仁同日海路群山に赴けり

●韓國婦人會總會

愛國婦人會韓國本部にては五月下旬を期し京城に於て盛大なる總會を擧行する由なるが東京本會代表者貴婦人の臨場をも申請する由

●各地の葉錢相場

從來韓南地方に流通せる葉錢が需要供給の關係上常に新貨との比價に變動を生じ甚しく經濟界に惡影響を及ぼしたるが政府は昨年七月一日其法定價額を二厘と定め一方買上交換、納税等の諸方法に依り此が一掃に努め居たるが爾來本年四月十五日迄の收額は約百五十萬圓の巨額に達したり尙一時二十三四割の相場を示せし馬山、群山、木浦等も昨今は二十割に下落し其他釜山は十九割七分、大邱は十九割六分、晉州は十九割五分、光州は十九割八分なりといふ

●蒙古旅行禁止

外人の蒙古旅行禁止に就ては此の程駐奉小池總領事より徐督に照會事實をたゞす處ありたるが同禁止は夏期内外蒙古及び北滿一帶馬賊橫行甚だしく旅行者の危險云ふばかりなかりしかば其期間に於ける一時的の者にして絕對的に之を禁止したるにあらずと尙今後と雖も護照を所持するに於ては毫も旅行差支なき譯なりと云ふ

●不作地の救助方法

京畿道に於ける陽川郡外入郡の不作地に就ては曩きに内部より羅書記官其他を同地方へ派し親しく實地に就きて調查せしめたるが其の被害程度は世間傳ふる如く慘狀ならざるも内部は度支部と協議の上社還米を社倉に貸與し困して社倉は更らに之れを窮民に貸與することゝなるべき由は既報の如くなるが昨三十日平渡府郡課長は度支部に到りて貸與方針に就き熟議する處ありたる由なれば愈々不日社還米を社倉に貸與するの運びに至るべしと

●學務主事の赴任期

過日來學部に於て開會中なりし學務擔任の主事會議は一昨二十九日を以て終了したるが昨三十日は聯合運動會に參列し本一日は學部に出頭すべき筈にて來る四日夫れ〳〵各任地に赴任すべしといふ

●米國鯡と鎭南浦

近頃鎭南浦より歸省したる人の談を聞くに同所は近來英領加奈太より鯡の輸入を爲す者甚だ多く本年三月十日迄其輸入總額二十六萬二千七百三十二斤此の價額一萬九百七十五圓にして多少は日本海にて捕獲したるものなるも殆んど米國產にて釜山方面よりも汽船便にて輸入したるものありといふ

●ベツセルの危篤

ベッセルは過般來病氣に罹りて自宅に療養中なりし由は既報せし所なるが此程來病勢頓みに一變したる由にて醫士の語る所に依れば同人は心臟病にて目下危篤の容体也と

●排日新聞の押收

浦鹽在留韓人の發行に係る大東共報第三十二號及桑港在留韓人の發行せる新韓民報第百二十六號は治安を妨害するものと認められ三十日内部大臣より各其發賣頒布を禁止せられたり

●韓國各學校運動會

昨日訓鍊院に於て擧行せられたる韓國官私立學校聯合運動會は頗る盛會にして參集せし官私立學校數百〇七校職員一千名生徒數一萬三千各大臣以下會衆五万に上りたるが韓皇には特に侍從李明九を勅使として差遣し左の勅語を賜ひたり

朕が官私立學校聯合大運動會擧行を聽き衷心甚だ嘉悅茲に特に侍從を差遣して勞問す爾學徒は克く朕が意を體して學業を勉勵し朕が望に副へよ

尙は韓皇より五百圓下賜李首相李學相より各五十圓を寄附したり

●京城中學校入學式

既報の如く京城中學校入學式は昨日午前十時より獨立門なる假校舍に於て擧行されたるが先つ隈本校長の開會の辭に次ぎ「君が代」の合唱、學事の報告、隈本校長の訓示熊谷民長及三浦理事官の祝辭ありたる後生徒總代の答辭ありて之にて全く式を了り夫より來賓及生徒父兄に茶菓の饗應ありたり

●仁川鐵道廻穀增加

仁川穀物協會が鐵道管理局に調查を依賴したる京釜京義兩線の穀物運賃割引實施を見たる以來の廻穀狀態を聞くに其の實施を見る以前に於ては數日間に僅々一口乃至二口の廻穀を見たるのみなりしが昨今に至りては非常に增加し本城、汗浦、水原、平澤、烏致院方面より廻穀せらるゝもの日によりては數百叺の多きに達する盛況を呈し來れりと

●漁政課長の任命

新設漁政課長は昨日技師庵原文一氏任命されたるが水產課長も兼任なりと

●漁業法と韓國人

漁業法は昨年十一月に發布し本年四月一日より實施することゝし此間一般に周知せしむることゝ爲しあるに依り當局者及當業者は既に其法の存在を知るべき筈なるにも拘らず

▲今回各道へ水產局員を派遣して尙法の主趣及取扱心得等を指示し官民間の實情をも調查せしめしに日本人に屬する官、民及人民にありては大概其の制定の主趣を了し

▲續々出願せるの情態なるも韓國側に係る觀察道、府尹、郡守並に其の人民等にありては殆んど法の發布を知らざるのみならず之れが施行等にも無頓着にして甚しきは漁業法を以て

▲日本人取扱の爲めに發布せるものにして韓國人に在りては之れを守るべき義務なきが如き思ひを爲し居る者ある等の有樣にして本法發布の主旨を誤れる者所在甚だ多きに依り

▲水產局に於ては漁業免許處分調查として各沿海に吏員を派遣するの機會に於て尙沿海の府尹郡守及人民等に對しても洽く其心得等を指示せしむる方針にして之等吏員は四五日中に夫々部署を定め出張する豫定なりと云ふ

●伊川郡の豚疫發生

江原道伊川郡にては豚疫發生し六十頭斃死せし旨電報ありたるに依り農商工部に於ては調查並に豫防の爲め昨日二名の技術官を同地へ向け急派したりといふ

●晉州物產陳列所

慶尙南道觀察道にては道所在地晉州に今回新たに物產陳列場を設置する事となり釜山會議所に宛て一般の出品勸誘方依賴せし由なり

●新義州と苗木頒布

水原勸業模範場にては此程桑苗千本を新義州民團へ送り遣したるが民團にては別に第二回として尙ほ數千本の送附を申請中にて到着の上はそれぞれ希望者へ頒つ筈なりといふ

●街鐵變更の進捗

平壤市街人車鐵道會社は愈々その組織を變更し之を株式會社となすべく專ら計畫中なりしが既に債權者との交涉も大畧纏まり其の贊助員には邦人の外李侍從院副卿その他有力なる韓人數名の加名者ありて至極好都合に運び居るよし

●慶州の道路工事

慶州道路は永川より阿火迄の道路工事は土木局出張所に於て本日より工事に着手すべく來十一月までに竣工の豫定なり

●埋築工事と竣功屆

仁川各國居留地先の埋築工事は起工日より四個月間に竣功を了るべき豫定なりしが工事非常に進捗し此の程大體の工事は全部完成したれば埋築會社よりは本日頃理事廳に向け竣功屆を差し出す筈なりと

●出入船舶と上陸客

昨日の仁川入港船は厦門丸福州丸入木浦丸の外沿岸汽船三隻の四隻にして出港船は愛知丸木浦丸の二隻なり上陸者は男百人女三十人乘船者は男十八人女四人次に目下の在港船は揚武、厦門、福州、天草、千葉、海州、錦江、龍湖、住の江等

●仁川府聯合運動會

仁川紳商會社長鄭永化外數名の韓人發起となり仁川府各學校の聯合運動會を開くことゝし目下夫々準備中なるが其開催期は來月中旬頃にて場所は松林洞なるべしと

●舊松本校長送別會

仁川小學校舊校長松本鎭三郎氏の送別會は本日午後仁川小學校分校内にて開かれたり終つて職員全部の紀念撮影をなし夫れより會に移りたるが同校長は本日一番列車にて歸國する筈なりと

●關稅局の舟遊會

關稅局にては明二日仁川にて舟遊會を催す筈にて度支部吏員も參會の筈なりと

●筑前人會開催

同會にては明二日正午より倭城臺に於て春季親睦會を開催する由會費金一圓雨天順延の由

●松井局長の釜山發

二十八日南大門發列車にて東上の途に就きたる松井局長は釜山に於て曾禰副統監と會見する筈なりしも副統監は天候不穩の爲め慶州に滯在したるを以て松井局長は昨三十日朝關釜連絡船に搭じ下關を經て京都に向へりと

●部員のテニス大會

度支部吏員の組織に係る會洞俱樂部にては明二日午前九時より米倉町のテニス、コートに於て第一回春季大會を催す筈なりと云ふ

●中山書記官の歸任

中山統監府書記官は曩きに東京に出張中の處今一日夜歸任すべしといふ

●顯原氏母堂の死去

顯原修一郎氏の母堂けい子は豫ねて病氣に罹り郷里長崎縣南松浦町宇仁村にて療養中の處遂に去る二十八日死去したりと

●海軍將校敍勳

四月二十六日付を以て韓政府より左の如く敍勳ありたり

特陞敍大勳賜李花大綬章 海軍中將男爵 上村彦之丞
特敍勳一等賜太極章 海軍中將男爵 山内萬壽治
特敍勳一等賜八卦章 海軍少將 松本 知
海軍少將勳二等 小泉榮太郎
同 井手 麟六
特賜太極章
海軍少將 伊地知季彥
同 竹内平太郎
同 大佐 季島七三郎
特敍勳三等賜太極章（各通）
海軍大佐 篠田 定市
特敍勳二等賜八卦章
海軍中佐 石川 長恒
特敍勳三等賜太極章

本日の集會

▲基督青年會講演會 旭町四丁目の京城基督教青年會館にては本日午後八時より講演會を開く由講演者及演題は左の如し

演題未定 淺野長七
宗教の三要素 コルテス宣教師

▲南山本願寺 同寺にては土曜日に付き例に依り午後八時より說教あり

▲微笑會 大和町三丁目圖山本檢師宅に於て例會講話あり

公人私人

▲片野誠太郎（全州派遣騎兵隊付騎兵少佐）來京中の處二十九日濟州に向ふ

▲中屋新吉（同隊指揮官騎兵少佐）二十九日歸任す

▲佐々木正太（全州財務監督局長）二十九日入京浦尾旅館

▲早川省三（平安農工銀行副支配人）同不知火旅館

近事片々

▲東拓總裁輿論に鑑み重役課長の俸給削減普通社員に均霑且冗員淘汰を斷行せんと

▲驛屯土地價の不當に就ても速に韓政府と交涉し其の不當なるを免かるゝを要す爲

▲或者は總裁を無定見と評するも頑冥にして世論に耳を藉さず非を遂るに愈るや萬々也

▲鐵道管理局亦輿論を容れ冗員大淘汰を斷行すべしと流石は大屋權平君出かしたり

▲官制及半官營の事業には冗角冗員多くして所謂役所風になり易し情弊洗ふべき也

▲れ次は統監府及韓國各部也統監府連は冗角輿論を蔑如する傾ありて甚だ非立憲的

▲憲法起草者たる伊藤公を頂く統監府が非立憲的傾向ありとは甚だ以て矛盾の至り

▲統監府及韓國各部は實際淘汰の必要ありとは萬目の見る所然るに今に何の音なし

▲優柔不斷何時迄も決せざるに於て輿論は益々咆哮せん今に於て猛省するが肝要也

▲本社長大岡氏大森恩賜館に於て韓太子に謁見すと京城日報は報ず此上なき榮譽也

▲京城日報子の觀光團は兎に角成功せり併し一行中より排日運動者出でずば幸甚也

▲從來韓人の渡日せるもの半は排日的傾向を帶びて歸る如何なる心理の作用なる乎

▲土國立憲軍々令嚴にして能く君府の秩序安寧を保つ且軍人の政治關係を嚴禁せり

▲土帝は空中飛行器で獨逸に逃れたりとの說あるも軍隊に擒となれるか事實ならん

▲列國の艦隊は潮の如くダーダネルス海峽に侵迫せりと干涉の聲明は近きにあらん

▲土國現今の情勢は數年前の韓半島に似たり混亂々々終に其底止する所を知らず矣

▲世界靜安問題は今將さに研究中に屬す米國の紐育及費府等にては既に實行せんと

▲紐育費府の靜安區域は學校敎會病院等にて其附近に於ける騷擾を禁ずるにありと

▲世の進步と共に人事の喧囂亦加はる此際靜安區域を設け心靈修養に資する要あり

▲日韓新内閣役割組は定る藤山雷太君澁澤男の指命に依り社長たらん此人先づ適任

▲犬養古賀兩本領山戸水の諸氏頃者相會し昨年の如く淸國問題に大氣焰を吐かんと

▲會の綱領中名稱を政界懇親會とせんと昨年は敗酒醉る今年は何と敗酒落れなさる

(日曜)(月曜及祭日翌日休刊) 明治四十二年五月一日 京城新報 (土曜日) 第九十七號 (三)

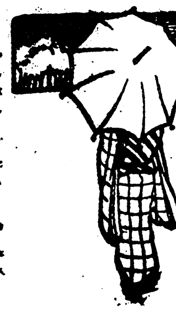
…く昨日民…役所に於て打合せを…決定せりと

賑やかに名士の祝辭諸種の記事掲載され紫紅欄紛の觀あり且つ体裁整齊採題寄抜編輯…

…條氏は二十八日午前十一時…大臣一同及其…他を北部齋洞の自邸に招待し花見の宴を張…

●天理教の開講式 …一郎氏…地毒町三丁目なる…なりたりと

…十七錢五厘なりと



●鶴原夫人の危難

▲在書生出刃を振廻す

東京市赤坂區福吉町一番地元韓國統監府總務長官鶴原定吉氏の邸宅は目下主人不在の爲め夫人令孃の外三ケ年前より同家にて世話をなし居る書生駒木根政行(二十)と女中四五人にて留守を守り居れるが政行は昨今精神に異狀を呈せる氣味あるより四五日來醫師の診察を受け居りしところ去二十六日午後二時頃突然臺所に至り鋭利なる出刃庖丁を取り出し來り夫人琴子(四十)の居間へ侵入せしかば夫人は魂も消えんばかりに打驚き悲鳴を擧げつゝ廊下を逃げ廻る其物音に何事ならんと二女すが子(二十)三女まつ子(十八)四子はな子(十三)の三名も居室を走り出で來る樣子を見るや政行は何も血相を變へ件の出刃庖丁を逆手に振り翳して三令孃の後方より邸內の彼方此方と追廻しこれに驚き更に走り來れる四名の女中をも又々追かけたる騒ぎに邸內上を下へと混亂し悲鳴叫喚の聲邸外に迄洩れ聞わたるを折柄通り蒐りたる赤阪署の巡査がこの音を聞きつけ反身るばかりに仰天し直に邸內に飛込みさま有無を言さず政行を取り押へ赤阪署に拘引し取り調べの上先づ同人を世話したる麹町區飯田町の澁田鹿三郎に引渡したるが狂人なりとは言へ政行が如何の動機によりてかゝる兇行に及べるか未だ判明せずされど夫人や令孃を故國に置きて來任せる役人達は大に注意を拂ふべき事共なり

●已が妾を嫁に遣る

▲貰ふ人の面が見度い

統監邸の下手に當り厳めしき洋風の官邸を構へられたる某官署に出勤遊ばす金線閣下あり此の閣下表面は中々の威張り屋にて馬鹿に貴族風を裝ふに似ず滕々鼻持もならぬ醜聞をサラケ出し玉へるぞ是非もなし一昨年の事かや閣下が當地へ赴任の當時花月通に身を寄し當時同樓に嬌名を歌はれし龍子拍子に現を抜かし果ては根引して官邸に引込み天晴奥妻と爲したる事は世人の多く知らるゝ處なるが間も無く龍子は閣下が情の嵐を宿しハヤ五月帶も打過ぎて蜘蛛に太鼓の其れの如くなり居りしに茲に不思議なるは龍子のお腹は俄かに縮少したるにも拘はらず別に赤ん坊の泣聲も聞かざるのみか此程閣下御上京の砌り件の龍子を宛然良家の娘の如く變裝せしめて同道相成りしと聞き及びしが近頃東の風の便りに聞けば彼れ龍子は夫れ閣下の親周旋にて某良家へ嫁入の相談纏まり目下其準備最中なりとは呆れ返りし話ならずや

●遺族の弔慰金爭ひ

▲殉職せる財務官の家族

前韓國度支部財務官千葉縣東葛飾郡流山村笠見忠一郎氏(二八)が昨年七月六日暴徒の爲に虐殺されしは當時の紙上に報道したるがこれに就き度支部より未亡人國子に弔慰金三千七百圓祭粢料五百圓を送りたるにこの金に就て氏の父忠次郎氏と國子との間に訴訟の起りたる次第なりしき、國子の言分にては我が知らぬ間に忠次郎氏印を僞造して金を受取り千二百圓だけ勝手に費ひたるはとは國子の知らぬ筈は無し姙娠中なりし故不都合なりとのこと、忠次郎氏は、金のことは國子の印として笠見世襲と云を造りて受取りしなりとのことなり因に國子は實家に復籍せんを望み居れりと

●合せ鏡(六)

魚遊齋史

(伊藤之守殿の花較を見て)

▲文之助と大吉

男兒も及ばぬ劍舞の巧者
檜の木ぶたいを文之助
財産も太棹ひく御神籤は
あれさ嬉れしい大吉よ

▲桃太郎と勝丸

形は團子でも踊と來ては
日の本隨一だよ桃太郎
身丈は低くも踊に長けて
他妓に打かつ丸い熟達

●無屆寄留二件

高知縣土佐郡小高坂村大工曾我鹿吉(三七)は明治四十年十二月より當地永樂町二丁目四十一番戸へ寄留し高知市北奉公人町二丁目大工淸水熊衰(三七)は同じく永樂町二丁目四十二番戸へ寄留し又廣島縣深安郡小條村百七十九番戸無職石﨑千代太(三三)は當地本町七丁目三十七番戸へ本年二月十五日より寄留して何れも其屆出爲し居らざりし廉に依り昨日南部署に於て各科料金二圓に處せらる

●一拍子のお灸

新町遊廓井門樓の流行妓浪枝事木村むめ(二六)及び信夫事淸水みつ(二二)の兩人は去る二十五日午後四時頃本町四丁目迄買物に行くとて其筋の許可を受けて外出したるに其歸途奬忠壇へ遠廻りして樂しき筋を演じ居たるを憎くや査公に認められ上を僞る不屆女郎と昨ふ南部署へ召喚され科料金一圓宛を頂戴す

●自轉車乘の痛事

京城若草町一丁目五十六番戸雜貨商加藤幸次郎(三五)は一昨日午後八時頃明治町三丁目街路を無燈火にて自轉車を乘り廻し居たるを巡査に告發され昨日南部署にて科料に處せらる

●五高出身の牛肉會

第五高等學校出身の催しに係る牛肉會は昨夜梅の家に於て開會したるが出席者は藤原度支部書記官、林東拓理事、三島一銀支配人、安住法部書記官、草場法務院檢察官、横井內部書記官、權藤宮內府事務官、矢野遞信事務官、横田地方裁判所判事等三十四名にして酒間書生時代の懐舊談ありて頗る盛會なりしと

●海山樓の新築落成

當地櫻井町一丁目に新築中なりし同樓は此程工事の全部落成したるを以て今一日より同樓に移轉して開業すると云ふ

二葉日記

なにがし

何人の手になりしかは知らざれども左の如き日記文が編輯局へ舞ひ込んだ、意味の何たるを問はず唯面白き節あるまゝ左に掲載することゝはしぬ。

(一)

吾れ曾て聞く、往昔希臘の彫刻家プラキシテールはエヌス神の像を作るに、モデルを當時の名妓フリナーに求めたりと、實に彼は神の如き人間を此等薄倖なる遊女の中に認めたりとさへ言ふなるを、如何なれば吾が同胞は冷めたき嘲笑の眼をのみもて此等の遊女を見んとはすらん。

店頭の嬌態、房室の妖姿、何づれか是れ吾人の心膽を衝かざるものぞ、吾れは自ら筆をとりて、敢ねて彼のスカルプチュアーの子たることを願はずと雖も、又私そかに無限の甘愁を覺ゆるもの、即ち記して以て二葉日記と云ふ。

(二)

日記に曰はく、『某月二十一日夜、吾れ酒を歎つて某樓に遊ぶ、妓あり年齢さに二十二三、容姿敢ねて濃艶ならずと雖も、清楚にして妖婉、宛かも女神の塑像の如し。試みに盃を擬して其名を問ねば、少しく媚を含んで二葉なりと答ふ。

二葉平、二葉平、吾れ汝の名を愛す、云々……』と。

然也、余が始めて彼女を見たるは某月二十一日の夜にして、爾來悶ある毎に彼女を訪ふて今日に到れり、此の間彼女を某樓に訪ふたる事前後數回、敢ねて戀と云ふにはあらざる也、戀といふにはあらざる也(未完)

演藝界

▲龍山座 竹本一昇一座の義太夫は頗る好人氣なるが本日より時間の都合に依り梶登太夫を一昇の後に廻す筈なりと云へば一昇の美音を聞かんとする者は其積りして早く出掛けるべしと尚は本日の語物は左の如し

日吉丸三(小富士)本瀧下屋敷(團朝)逆櫓(定)埴生村(輝美)三勝(一昇)日向島(梶登)

▲永樂亭 岡本美根松一座源氏節今夜の語物は左の如し

八百屋お七(美根子)小栗判官(美根鶴)由良の港(美根鈴)大江山(美根松)日高川(美根由)新內(若花)

●韓語獨習

日語	韓語
れ判りになりませんか	アールシカエッソ
判りません	アルサーオプソ
左樣です	クラーオ
左樣ですか	クロッスムニッカ
此樣に、して見やう	イロッケイ、ハヨー、ボチヤ
成可く、一緒に	トイトロク、カッチ。
行きませう	カプシタ
御少し、遊びませう	トーヂョム、ノシシプシタ
要りませぬか	スルテー、オプスムニッカ
要らない	スルテイ、オプタ



▲柳江伊豫之守殿には近頃更らに御出仕御座無く御身に恙ばし有つての事か但し又御奥にばかり御渡り在りて御款道……アイヤ操粹業を怠り給ふか甚だ以て心もとなし何には兎もあれ一日も早く表御殿に御出仕の程臣等一同願はしふ存じ奉る(花臣一統)▲ひら樣有り難う近日是非邪魔に御伺ひ致します貴兄もれ閑暇の節は拙宅へもドーゾ(ひと)▲是非御伺ひ申すべく候へども元來小生は人見知を致す所謂小膽者に候へば貴兄より先づ御足勞下されたく、と申すは決して自ら持する重厚とか云ふ意味には無之候間あしからず(ひら)▲本町六丁目の岡村さん所の女中さんは實に感心ですよアノ人の名前を知つて居る人は是非(岡惣生)



▲花月樓の○○さんは二十八日の晩原金の横通の薄暗い所にて頗る付きの高襟男と立話しサゾサゾ〜〜れ樂しみ(美望生)▲贊化病院の加來さんよ近頃は世間で大分に評判が高いですよ少し注意しないと未來の○○さんに云ひ付けますよ(美代子)▲當地にて一寸と安直で粹な料理を食はせる家を御存じの御方は敎へて下さいまし(江戸ッ子)▲近來仁川管內に於ては賣春婦の檢擧日を追ふて頻繁なるに當地の樣に晝夜を問はず公然と賣淫しつゝあるを等閑に附して居るのは何う云ふ譯けか(不思議生)▲苦勞人君や愛讀生君が地方の方言を列べられる誤れる點かあるから僕が代つて訂正する鹿兒島で齒痒いことを「腹ンキスケツ」東京の「チンく〜モガく〜」は肥前では「スツケンギヨウ」と云ひます(外の一讀者)▲僕は近頃禁酒して居るが人が呑んで居るのを見ると何んとも我慢が出來ぬ何んとか宜い工夫は有りませんか(禁酒生)▲小僧君一考せられたし(録)▲西小門通りの古川床では彼のチョンゴシの職人を放逐すると云ふが夫は如何な

●雙影

筆者病氣の爲め本日休載

る事情があるか知らねばなければオイ髭の大將コイツアー一とつ考へもんだせ(頑節玉)▲釜山仁川等では頻りに密賣淫の取締を勵行して居るが京城は如何したもんだい(大平洞人)▲何うも爲ない樣でございますよ(小僧)▲太平町の吉田屋の何んとか云ふ阿魔は此間の晩れ髪の旦那と歌舞伎座へ芝居見物に行て居たのを好ちやんに見られて一大騒ぎ)▲氣の毒でもない(給仕)

●天氣豫報(自三十日午後六時至一日午後六時)

南西の風晴

廿九日 最高温度(華氏)五九、四 最低温度 四九、一

廣告

◆無料紹介欄◆

入傭部

清語通譯 希望 當初給料望まず 氏名在社(二二二)

一年齡二十歲身体强壯高等小學校卒業家內の少き內に於て餘暇聽講を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ(二二三)

被雇 希望 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社(二二二)

冒險事業を求む年廿三身体頑强壯軍隊出射撃術に通ず報酬を不望(衣食に差支へなき限り) 氏名在社(二二四)

年廿才玉突ボーイに雇はれたし持點數百二十以上龍山大島町新玉軒にて津田(二二七)

看護婦募集す志望の方は至急申込あれ 明治町惠愛看護婦會

看護婦三名入用 南山町二 松岡醫院

給仕に雇はれたし 氏名在社(二二八)

多少法律事務に心得ある事務員一人雇ひ入れたし希望者は午前九時前御越あれ 明治町二の七五岩田辯護士(二二三)

下女入用年齡不問**給金**働き次第 氏名在社(二二二)

弓削竹二郎君に告ぐ長谷川町宮田屋洋眼店へ履歷書提出あれ (係)

雇はれたし 家族少なき家を望む十九女 (氏名在社)

十六七の**職弟子入用**但し當地に確實なる保證人有者 明治町一丁目 衛生床(二二五)

藥局生に雇はれたし內地にて多年經驗あり醫院若くは病院を望む身元確實保證人有り 氏名在社(二二四)

年十七高等小學卒業商店又は役所の給仕に雇はれたし 氏名在社(二二八)

年廿五体强健記精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望まず 氏名在社(二四〇)

中等教育有り七八年判任文官奉職何れにても雇はれたし給料望まず確實保證人あり 氏名在社(二三九)

長崎縣人**佐藤コノ**上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町一丁目池田質店宛御報を乞 (二四五)

紫檀陶器金屬書畫等の鑑楷に得意、相當の家に雇はれたし 氏名在社(二四四)

年(二十)体强血正月收一〇〇相當の品格ある處女と結婚したし 氏名在社(三四六)

物件部

賣家 大和町三十地百餘坪の建物あり官吏向に適し溫景最もよし望の方は御來談あれ 社內 矢島

貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附(又は隨附にても)にて二間貸したし 氏名在社(二二五)

雄子雄日本產尾中鵬し從來使用中の者盜難にかかりし者へは謝禮 龍山郵遞官舍八十八號 丸山(二二一)

紫檀器物を上手に修繕する家御承知の方は本欄迄御通知被下度し 姓名在社(二三七)

貸家 若草町一溫突一間疊敷二間日本流押込二外に炊事場玄關井戶付家賃一三五〇 若草町一の一二九矢島(二四一)

貸家 若草町一溫突二間疊敷二間日本流押込付外に炊事場玄關井戶付家賃二二三〇 若草町一の一二九矢嶋(二四二)

貸家 若草町一溫突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇 若草町一の二九矢島(二四三)

求貸家 西大門外西小門外方面なる四五十圓の綺麗なる格安にて貸されたし 氏名在社(二四〇)

廣告



電話開通 九百十九番

キッド深ゴム 八圓
ボックス深ゴム一枚皮 七圓五十錢
半ボックス深ゴム一枚皮 五圓五十錢

京城本町一丁目 **富田製靴本店** 電話九百十九番
同 本町六丁目 **同 第一支店**
同 南大門外 **同 第二支店**

地方よりの注文は御一報次第代金引替にて郵送致し若し御足に合さる節は何時にても御取替申すべく候

營業科目

諸官衙御用品調達
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達

委托販賣

東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 嘉藤合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町二丁目十一番地 電話新橋三九八二

待合 醉月

旭町 京町古城二層 丁城目横

●**廢物利用**●

一金口 一空箱 買入れ申候

上等金口トルコ賣發賣所 京城本町四丁目 **パチリス商會**

龍山 萬長旅館

東山の手柳町 電話四〇番

○○○

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)

辯護士 岡田榮

京城旭町二丁目六十七番戶 (電話三九八番)

○○○

九州セメント
上等生石灰販賣

京城南山町一丁目電話三四四番 **山村商店**
龍山元町一丁目電話三四八番 **中村運送店**

松岡醫院 (入院隨意)

南山町二丁目 植村病院跡 電話六七五番

▲**清潔の下宿**▼

客室の清潔ご調理の美味ご御扱の懇切さを特色ごして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

▲**懇切の下宿**▼

櫻町二丁目十一番戶 横小路 (元化研跡) **かめ屋**

東京流 **貸席 待合**

京城南山町二ノ一 電話一二〇五番

●**賣家**●

龍山旭橋通り 一、瓦二階建平屋 取まぜ二十二坪

開數十四造作付

外に空地あり 但旅館用道具其他一切御相談に應ず 右賣却す望の方は御來談被下度候

龍山丸万旅館

☰

熱心運志多年爲斯道難決疑與奪悅然似有得者能鑑推斷
易斷 京城本町五丁目
相談投
通信鑑斷一件一圓特別二圓

三二館

開業廣告

今般左記の所に於て左の業務開始仕り且つ迅速を旨とし親切誠實に取扱可仕候間陸續御用命を蒙り度伏て奉懇願候

一、登記及諸願届代書
一、諸規約及定款
一、債權取立代辯
一、土地家屋賣買及借地借家の仲介
一、土地建物鑑定

京城旭町二丁目

金[illegible] **專一**

電話(本局)[illegible]

純良

乳

牛乳元祖 平山牧場

京城大和町一丁目 電話百三十三番

石炭直輸入卸小賣

●●**精撰塊炭** ●●**上等塊炭**(海軍御用炭)
●●**荒塊炭** ●●**切込炭**(鐵道御用炭)

弊店の石炭は自己炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候間目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口福母炭坑賣炭部 合名會社範多商會韓國代理店 大阪鐵工所韓國代理店

韓國京城南大門西側(電話長八二九番) 合資會社**長醫商會韓國出張所**

仁川濱町一丁目(電話長八二二番) 合資會社**長醫商會仁川出張所**

開業御披露

巴壽し

並に折詰御好次第

京城壽町一丁目 **巴すし** (電話一〇七番)

大 命 萬

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

和洋酒、回精酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

京城本町五丁目 **大上商店** (電話二五一番)

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九

東京火災(海上運送)保險株式會社

資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番



美術書畫 襖、壁、天井張

京城壽町一丁目 **桂萬吉**

用燃料 無煙煉炭

●用途 瀬鐵、暖爐、溜用に適す

居留民團德山海軍省煉炭所東隣

谷口無煙煉炭工場

京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 **巴商會**

韓國一手販賣 京城太平町二丁目 **神田組**

銘茶 西井茶舗

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金參百萬圓
積立金八拾萬圓

株式會社 **十八銀行** 京城支店 (電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 大阪、熊本、京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、佐世保、嚴原、五島、壹岐、羅州、群山

韓國 日本 其他日本、韓國、要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

諸傘 並に提灯類 印入

和洋蠟燭あり

京城明治町一丁目 **大島商店**

○**建築業** 龍山元町四丁目 **中川卯之助** 電話六九一

○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

純洋 牛乳

京城南大門外 若井牧場 電話一五七

日本郵船株式會社 出帆廣告

電話十番

貨物及乘客取扱店 **回漕店**

大連、太沽、牛莊行 五月 九日午後三時出
高砂丸
大連、太沽、牛莊行 五月二十七日正午時出
山東丸
大連、太沽、牛莊行 五月二十五日前五時出
酒田丸 五月 十三日正午出
釜山出帆、元山、浦潮、浦鹽行
立神丸 五月二十六日

新聞料 一枚金二錢 一ヶ月金四十五錢
廣告料 五號活字十九字詰一行 一回四十錢

發行兼編輯人 秋山三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城 京城新報社 電話六六番